東福保育園　　0　歳児

年間テーマ	色
探求テーマ	いろいろな色のシフォン布に触れる。

子どもの姿	・担任の顔を覚え、担任以外の保育士が抱っこなどをすると泣いたり、特定の保育士が側にいないと泣く。
「問い」を考える	・色のはっきりとしたシフォン布を見せたら、どのような反応を見せるのか。
活動をデザインする	・シフォン布を使って、わらべうた「にぎりぱっちり」を歌う。 ・子どもの顔にシフォン布を掛けたりする。
環境をデザインする	・シフォン布が視界に入りやすいように、背景は無地の壁やブラインドを閉めた場所で行う。
小グループを構成する	・少人数であそび、友だちや保育者と一緒にシフォン布に触れながらわらべうたを楽しむ。
振り返り	年齢的に「色」を理解することは難しいが、色の濃いシフォン布を見せたり、触れたりすることでこれからも色を身近に感じていったり出来ると思った。保育士がシフォン布を使って「いないいないばあ」とする遊びを繰り返し行っていたからか、子どもが自らシフォン布を被って、「いないいないばあ」の仕草をしていて驚いた。子どもたちと触れ合い遊ぶ中で、チェーンや色がはっきりとした絵本などを使って様々な色を取り入れていきたいと思った。

2025年　　6月　　5日（木）

子どもの言葉・姿	写真
・ミルク缶を出すと、手を伸ばしミルク缶の中からシフォン布を引っ張り出す。 ・ミルク缶からシフォン布を1枚引っ張り出した後も、まだ中に入っているシフォン布を繰り返し引っ張り出す。 ・シフォン布を自分で頭に被せ、保育士の「いないいないばあ」の掛け声に合わせてシフォン布を頭から外す。 ・友だちの顔に掛かったシフォン布を、引っ張って取ろうとする。 ・保育士が「にぎりぱっちりたてよこひよこ」の歌を歌い始めると、保育士の顔を見つめる。 ・保育士が開いた手の中からシフォン布が飛び出してくると、保育士の顔を見て笑顔を見せる。 ・眠くなってしまい、泣いて保育士に抱っこされる。 ・ミルク缶を床にトントンし、音を楽しむ。	